



廃棄物管理に関する国際要件

目的

ロシア連邦、レンダーおよびステークホルダーの要求を踏まえ、廃棄物管理に関し、国際標準およびその他の要件を定義することが、サハリンエナジーによって正式に決定された。

注：この文書は、基準の変更に対応できるよう、プロジェクト完了後 12 カ月以内（PC+12m）に改定されるべきである。

対象者

- 管理者¹
- HSE 専門家

要件

有害物質処理活動は、次のような、国際的に認知された標準、条約（ロシア連邦が批准した）およびその他の要件項目に従うこと。

- 国際金融公社（IFC）、廃棄物管理施設向け労働保護および環境安全の手順（IFC、1998年7月）
- 国際金融公社（IFC）、労働保護および環境安全に関する国際金融公社の手順：海上石油ガス産地開発、（IFC、2000年12月）
- EC 指令 2000/59/EC 船舶が発生させる廃棄物と貨物残留物の港湾における受入施設に関する指令
- EC 2000/76/EC 廃棄物の焼却に関する指令
- EC 2000/76/EC 危険廃棄物の焼却に関する指令（2005年12月28日版）
- EC 91/689/EEC 危険廃棄物指令（94/31/EEC、修正を含む）
- 世界銀行による汚染物の予防と削減に関する世界銀行の管理（1998、修正を含む）
 - 廃棄物の保管施設に関する参考基準には、世界銀行による汚染物の予防と削減に関する世界銀行の管理で取り扱われている、経済協力開発機構（OECD）の諸国における有害廃棄物および長期保管廃棄物の運送局規則の基準が含まれている。（1998年、修正を含む）；ロシア連邦の最低基準は衛生基準及び規則（SanPin 2.1.7.1322-03 と SP 2.2.1.1312-03）に提供されている（EIA の追加：固形廃棄物について）；
- EC 91/27/EEC 都市排水処理指令（98/15/EC の修正を含む）
- EC 75/439/EEC 廃油指令（91/692/EC の修正を含む）
- EC 1999/31/EEC 埋立処分指令（2003/33/EC の変化を含む）

¹ この文書のイタリック体の用語は、サハリンエナジーHSE用語集にある。

未分類	文書 № 0000-S-90-04-O-0258-00-E, 付録 4, 第 02 版	有効期限：2010年5月28日からプロジェクト完了後12カ月以内	
文書履歴	承認者: A.Galaev, 管理者: E.Kurochkina	複写規制なし	ページ 1 / 2



廃棄物管理に関する国際要件の詳細

- 有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約（1989年）、1994年にロシア連邦が批准した（ロシア連邦法「バーゼル条約の批准について」 № 49-Φ3、1994年11月25日）；
- 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（2001年5月23日）、2002年5月22日ロシア連邦により批准（ロシア連邦指令 320号、2002年5月18日付け「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の批准について」）；
 - 船舶による汚染の防止のための国際条約(マルポール 73/78 条約、付録 1～5、1978年（2002年9月1日の修正を含む）、サハリンエナジーの下で実施されている取引および船舶について）；
 - 廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約(ロンドン条約).1972年
 - ロイヤル・ダッチ・シェルの廃棄物管理マニュアル
 - 実施完了および処分計画には、当時有効であった国際基準に従い、固形廃棄物管理計画も含まれる（EIA 2-2.6章、2-3.13.1章）。
 - サハリンエナジーの社員および契約業者は、サハリンエナジーの責任となる、あるいは想定外のリスクを発生させるような廃棄物の取り扱いをしてはならない。
 - 公海上における石油汚染事故発生の際の介入について

「廃棄物管理における基準比較」²は、サハリンエナジーが施設や活動に対して適用されている基準の要件の詳細分析であり、これにより全ての既知の例外/偏差が定義される。

² 下線部分はサハリンエナジー規制文書への参照である。

未分類	文書 № 0000-S-90-04-O-0258-00-E, 付録 4, 第 02 版	有効期限：2010年5月28日からプロジェクト完了後12カ月以内	
文書履歴	承認者: A.Galaev, 管理者: E.Kurochkina	複写規制なし	ページ 2 / 2